

令和4年9月1日

令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

熊野市教育委員会

1. 教科に関する調査結果について

小学校の調査結果については3教科ともに平均正答率が全国平均を下回っています。特に国語において全国平均との差が大きくなっています。

中学校の調査結果については3教科ともに平均正答率が全国平均を下回っています。今回対象となった中学3年生が、小学6年生だった令和元年度の調査結果と比較すると、全国平均との差が国語で5.8ポイント、数学で3.2ポイント縮まっており、小学校から中学校への学びの伸びがみられます。

【小学校の調査結果】

	国語	算数	理科
熊野市	56 %	59 %	58 %
三重県	65 %	62 %	63 %
全国	65.6 %	63.2 %	63.3 %
全国との差	▲9.6P	▲4.2P	▲5.3P

【中学校の調査結果】

	国語	数学	理科
熊野市	66 %	49 %	47 %
三重県	68 %	52 %	48 %
全国	69.0 %	51.4 %	49.3 %
全国との差	▲3.0P	▲2.4P	▲2.3P
小学6年生時の全国との差(令和元年度)	▲8.8P	▲5.6P	

2. 各教科における特徴について

(1) 小学校

① 国語

- ・正答率は全問全国平均を下回っています。
- ・中でも、「登場人物の相互関係について描写を基に捉える」「人物や物語の全体像を具体的に想像する」の正答率は全国平均を下回っています。
- ・学習指導要領の内容では「読むこと」に課題がみられます。

② 算数

- ・一部の問題が全国平均を上回っています。

- ・具体的には「目的に応じて円グラフを選択し必要な情報を読み取ることができる」の正答率は全国平均を上回っています。しかし、「分類整理されたデータを基に目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる」の正答率は全国平均を下回っています。
- ・学習指導要領の領域では「数と計算」の領域に課題がみられます。

③ 理科

- ・一部の問題が全国平均を上回っています。
- ・具体的には「予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して問題を解決するまでの筋道を構想し自分の考えをもつことができる」の正答率は全国平均上回っています。
- しかし、「メスシリンダーという器具を理解している」の正答率は全国平均を下回っています。
- ・学習指導要領の内容では「観察, 実験などの技能」に課題がみられます。

(2) 中学校

① 国語

- ・一部の問題が全国平均を上回っています。
- ・具体的には「表現の技法について理解する」の正答率は全国平均を上回っています。しかし、「論理の展開などに注意して聞く」の正答率は全国平均を下回っています。
- ・学習指導要領の内容では特に「我が国の言語文化に関する事項」に課題がみられます。

② 数学

- ・一部の問題が全国平均を上回っています。
- ・具体的には「データの傾向を的確に捉え判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」の正答率は全国平均を上回っています。しかし、「目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりして事柄が成り立つ理由を説明することができる」の正答率は全国平均を下回っています。
- ・学習指導要領の領域では「データの活用」の領域が全国平均を上回っていますが「数と式」の領域に課題がみられます。

③ 理科

- ・一部の問題が全国平均を上回っています。
- ・具体的には「岩石に関する知識及び技能を活用できるかをみる」の正答率は全国平均を上回っています。しかし、「実験の結果を分析して解釈し課題に正対した考察を記述する」の正答率は全国平均を下回っています。
- ・学習指導要領の内容では「観察, 実験の方法の検討や考察」に課題がみられます。

3. 児童・生徒質問紙調査結果について

【児童質問紙(小学校:全国平均との比較)】

※○:全国平均を上回る質問項目

●:全国平均を下回るまたは上回っても課題として捉えられる質問項目

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合(以下同様)

- | | |
|--|--------------------|
| ○自分には、よいところがあると思いますか | 熊野市:86.8% 全国:79.3% |
| ○人が困っているときは、進んで助けていますか | 熊野市:97.9% 全国:88.9% |
| ○自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか | 熊野市:72.5% 全国:65.1% |
| ○国語の勉強は好きですか | 熊野市:66.3% 全国:59.2% |
| ○算数の勉強は好きですか | 熊野市:70.4% 全国:62.5% |
| ○算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか | 熊野市:74.5% 全国:64.6% |
| ○理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか | 熊野市:74.5% 全国:67.9% |
| ○理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 熊野市:82.7% 全国:77.2% |
| ○理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか | 熊野市:79.6% 全国:72.2% |
| ●携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っていますか | 熊野市:66.3% 全国:71.5% |
| ●土曜日、日曜日など学校の休みの日に1日どれくらい勉強していますか※1日当たり1時間以上勉強している割合(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間インターネットを活用して学ぶ時間も含む) | 熊野市:49.1% 全国:56.1% |
| ●学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか
※週1回以上ICT機器を活用している割合 | 熊野市:62.2% 全国:76.1% |
| ●学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか
※週1回以上ICT機器を活用している割合 | 熊野市:31.6% 全国:49.4% |
| ●学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか
※週1回以上ICT機器を活用している割合 | 熊野市:30.6% 全国:45.2% |
| ●あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解 | |

決方法を決めていますか

熊野市:63.2% 全国:73.5%

●理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか

熊野市:70.4% 全国:78.0%

【生徒質問紙(中学校:全国平均との比較)】

○自分には、よいところがあると思いますか

熊野市:95.2% 全国:78.5%

○人が困っているときは、進んで助けていますか

熊野市:93.9% 全国:88.4%

○将来の夢や目標を持っていますか

熊野市:81.9% 全国:67.3%

○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

熊野市:84.3% 全国:67.1%

○1,2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

熊野市:95.2% 全国:80.6%

○学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか

※週1回以上ICT機器を活用している割合

熊野市:78.3% 全国:43.5%

○学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか

※週1回以上ICT機器を活用している割合

熊野市:62.7% 全国:35.3%

○1,2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

熊野市:94.0% 全国:79.2%

○1,2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

熊野市:79.5% 全国:67.4%

○1,2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

熊野市:85.5% 全国:75.3%

○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

熊野市:85.6% 全国:71.7%

○数学の授業の内容はよく分かりますか

熊野市:86.8% 全国:76.2%

○数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか

熊野市:96.4% 全国:79.6%

○理科の授業の内容はよく分かりますか

熊野市:92.8% 全国:75.2%

○理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか

熊野市:78.3% 全国:64.5%

○理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか

熊野市:90.4% 全国:78.9%

●学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教

科書や参考書, 漫画や雑誌は除く) ※1日10分以上

熊野市:42.1% 全国:48.6%

●読書は好きですか

熊野市:53.0% 全国:68.2%

●国語の勉強は好きですか

熊野市:56.6% 全国:61.9%

小中学校ともに「自分にはよいところがあると思いますか」に肯定的に回答している児童生徒の割合が全国に比べ大幅に上回っています。また中学校については「将来の夢や目標を持っていますか」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」等自己肯定感や自尊感情につながる項目で大幅に全国を上回っています。

小学校では「国語, 算数の勉強は好きですか」に肯定的に回答している割合が高く, 「算数や理科の授業で学習したことを, 普段の生活の中で活用できないか考えますか」についても全国に比べ大幅に上回っていることから学習意欲の向上がみられます。

中学校では「数学, 理科の授業の内容がよくわかりますか」「1, 2年生のときに受けた授業は, 自分にあった教え方, 教材, 学習時間などになっていましたか」に肯定的に回答している割合が高く, 数学の授業では「公式やきまりを習うとき, そのわけを理解するようにしていますか」, 理科の授業では「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」「観察や実験の結果をもとに考察していますか」等, 全国に比べ大幅に上回っていることから, 生徒一人ひとりの実態に合わせた授業改善が進んでいることがうかがえます。

ICTを活用した学習状況に関わる調査内容の中で, 中学校では, 「授業で, PC・タブレットなどのICT機器を, どの程度使用しましたか」「自分で調べる場面では」「意見を交換する場面では」「自分の考えをまとめ, 発表する場面では」の4項目において, 週1回以上活用していると回答している生徒の割合は, 全国に比べ大幅に上回っている状況です。一方, 小学校では, ICTを活用した学習状況について, 児童により差がみられます。

4. 学校質問紙調査結果から見てきた傾向

全国学力・学習状況調査では児童生徒質問紙調査に加え学校における指導方法に関する取り組みや学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する学校質問紙調査を実施しています。

その中で「一人ひとりのよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか」「授業において, 児童生徒の様々な考えを引き出したり, 思考を深めたりするような発問や指導をしましたか」「授業研究や事例研究等, 実践的な研修を行っていますか」については, すべての小中学校が肯定的に

回答しており児童生徒一人ひとりの学習状況を丁寧に把握しながら学力向上・授業改善に向けて各学校が取組を具体的に進めていることがうかがえます。

その一方で、ICTを活用した学習状況に関わる調査内容において、「教職員と児童生徒とのやりとり」や「児童生徒同士のやりとり」については、小学校学校間で差がみられます。また、小中学校全体として、タブレットなどのICT機器を活用した「児童生徒と学校外の人々とのやりとり」「児童生徒のスタディ・ログを活用した学習状況の確認」等について、学校間で差がみられます。

5. 今後の取組について

熊野市教育委員会では児童生徒一人ひとりの確かな学力の定着に向け学力向上推進事業を軸とした研修事業を展開しています。8月下旬に行った学力向上研修会では武庫川女子大学森脇教授(前三重大学教授)を講師として招き本年度の全国学力・学習状況調査結果を踏まえた今後の授業改善の在り方について研修を行いました。また市の研究指定を受けた学校が外部講師による年間を通じた指導を受けながら授業改善に努めています。

加えて、県教育委員会の学力向上事業の指定を受けた学校により、算数における習熟の程度に応じた1人1台学習端末等のICT機器を活用した効果的な指導方法について実践的な研究を進めています。

今後はそれらの学校の実践で得た成果と課題を他の学校にも還流するとともに、紀州教育支援事務所指導主事や熊野市教育委員会指導主事が学校訪問による授業研究を通して学校での研修体制の充実を目指します。その中で、全国学力学習状況調査の結果を踏まえた具体的な授業改善の提案を図り、課題の克服に努めていきます。